

精神保健福祉センター一所報

平成30年度

奈良県精神保健福祉センター

目 次

1 職 員	2
2 精神保健福祉相談	2
3 教 育 研 修	3
4 普 及 啓 発	4
5 自 殺 対 策	5
6 依 存 症 対 策	11
7 災 害 対 策	12
8 精神医療審査会事務	13
9 技 術 支 援	14
10 精神障害者保健福祉手帳及び 自立支援医療（精神通院）の判定	16

1 職 員

令和31年4月1日現在

職 種 区 分	医 師	事 務	精神保 健福祉 相談員	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	保 健 師	合 計
職 員	2 [内兼務1]	4 (2)	3	1	(1)	1	11 (3)

* () は日々雇用職員

2 精神保健福祉相談

精神保健福祉センターでは、電話や面接による精神保健福祉及び精神障害者福祉に関する相談及び支援を実施しています。

平成30年度における精神保健福祉相談実績延べ件数は、表1から表7のとおりです。

表1 相談内訳

	件数	%		件数	%
所内相談	43	15.2	新規	243	86.2
電話相談	239	84.8	継続	39	13.8
計	282	100.0	計	282	100.0

表2 利用状況

表3 相談者

	件数	%
本人	98	34.8
家族	159	56.4
本人家族	1	0.4
その他	24	8.5
計	282	100.0

表4 相談経路

	件数	%
医療機関	5	1.8
保健所	4	1.4
市町村	7	2.5
関係機関	11	3.9
HP	35	12.4
広報	2	0.7
一般情報	97	34.4
その他不明	121	42.9
計	282	100.0

表5 年齢別・性別

性別 年齢	男		女		不明	
	件数	%	件数	%	件数	%
10歳未満	0	0.0	0	0.0	1	11.1
10~19歳	3	2.0	6	4.8	0	0.0
20~29歳	13	8.7	6	4.8	0	0.0
30~39歳	31	20.8	9	7.3	0	0.0
40~49歳	16	10.7	14	11.3	0	0.0
50~59歳	17	11.4	10	8.1	0	0.0
60~69歳	6	4.0	3	2.4	0	0.0
70歳以上	11	7.4	15	12.1	0	0.0
不明	52	34.9	61	49.2	8	88.9
計	149	100.0	124	100.0	9	100.0

表6 相談内容

	件数	%
精神疾患に関すること	65	23.0
老人精神保健に関すること	7	2.5
社会復帰に関すること	0	0.0
アルコール依存に関すること	36	12.8
薬物依存に関すること	15	5.3
ギャンブル依存に関すること	49	17.4
思春期に関すること	13	4.6
心の健康づくりに関すること	13	4.6
うつ・うつ状態に関すること	27	9.6
摂食障害に関すること	5	1.8
てんかんに関すること	0	0.0
その他	52	18.4
		0.0
		0.0
計	282	100.0

表7 対応内容

	件数	%
傾聴・助言	176	62.4
情報提供	63	22.3
他機関紹介	5	1.8
センター来所予約	38	13.5
計	282	100.0

3 教育研修

県内関係諸機関の精神保健福祉業務に従事する各職種に対して、精神保健福祉に関する専門的知識と技術向上を図るため、研修会及び連絡会議等を開催しています。

研修名	内容	講師	参加者数	実施日
第1回 精神保健福祉業務 初任者研修会	① 精神疾患の基本的な知識とその対応 ② 薬物依存症者回復プログラム案内	① 奈良県精神保健福祉センター嘱託医 吉岡 玲 氏 ② 奈良県精神保健福祉センター調整員 伊東 千絵子 (医師)	56名	平成30年 5月21日
第2回 精神保健福祉業務 初任者研修会	精神保健福祉相談の 進め方	桃山学院大学 辻井 誠人 氏	59名	平成30年 6月1日
第1回 精神保健福祉従事 者研修会	動機付け面接法を学ぶ	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児 医学教室研究補助員 川村 恵子 氏 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児 医学教室 講師 川村 智行 氏	30名	平成30年 11月22日
第2回 精神保健福祉従事 者研修会	動機付け面接法を学ぶ	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児 医学教室研究補助員 川村 恵子 氏 玉井整形外科内科病院 薬局長 向井 壽美 氏	15名	平成31年 3月17日
第1回 災害時精神保健医 療従事者研修	奈良DPAT研修 ①1日目 ②2日目	①奈良県疾病対策課 村田 清 氏 奈良県中和保健所 守川 義信 氏 奈良県立医科大学附属病院 盛本 翼 氏 DPAT事務局アドバイザー 緑川 大介 氏 DPAT事務局アドバイザー 岡庭 隆門 氏 奈良県精神保健福祉センター嘱託医 小坂 淳氏 ②兵庫県こころのケアセンター長 加藤 寛 氏	①55名 ②55名	① 平成31年1 月26日 ② 平成31年1 月27日
第2回 災害時精神保健医 療従事者研修精神 保健福祉従事者研 修会	突然の死（災害や自死な ど）における遺族支援に ついて	神戸赤十字病院心療内科部長 村上 典子 氏	52名	平成31年 3月5日
アルコール健康障 害対策推進研修会	①アルコール健康障害対 策基本法の意義～基本計 画から推進計画へ～ ②依存症を抱える人の心 理の理解と支援 ③依存症を抱える家族の 支援について	①東布施クリニック院長 辻本 士郎 氏 ②三重県立こころの医療センター 診療部長 長 徹二 氏 ③京都府立大学公共政策部 福祉社会学科准教授 山野 尚美 氏	①42名 ②45名 ③45名	① 平成30年 9月19日 ② 平成30年 10月17日 ③ 平成30年 10月22日

4 普及・啓発

県内関係諸機関において精神保健福祉に関する知識等を啓発しています。

① ゲートキーパーパネル展示

広く県民にゲートキーパーについての理解を深めてもらうことを目的とし、以下のとおり、ゲートキーパーパネル展を実施しました。

実施日	平成30年4月22日
会場	帝塚山大学 学園前キャンパス
内容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚） ・普及啓発グッズ(ティッシュ、A4ファイル、ならこころのホットライン啓発カード、リーフレット)の配布・ゲートキーパーに関するパネルの展示

実施日	平成31年3月5日～8日
会場	屋上ギャラリー
内容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚）

実施日	平成31年3月18日～29日
会場	県政情報サロン
内容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚）

実施日	平成30年9月4日～9日
会場	帝塚山大学 学園前キャンパス
内容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚） ・普及啓発グッズ(ティッシュ、A4ファイル、ならこころのホットライン啓発カード、リーフレット)の配布

② デジタルサイネージの放映

平成30年4月～平成31年3月にかけて、「ゲートキーパー」「ならこころのホットライン」「ハローワークで無料法律相談」の内容を盛り込んだデジタルサイネージの放映を行いました。

実施日	平成30年4月～平成31年3月の間（随時放映）
会場	奈良県庁エレベーターホール 奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～、イオンモール大和郡山 JR王寺駅、奈良県立医科大学附属病院

③ その他の啓発

- ・奈良テレビデータ放送
「自殺予防週間」及び「自殺強化月間」についての啓発
- ・県民だより「情報ファイル」、「養生訓」掲載
「ハローワークにおける無料法律相談」、ゲートキーパー普及啓発事業
- ・ゲートキーパー普及啓発事業、自殺予防DVD市町村等配布による県民啓発

5 自殺対策事業

奈良県では、平成29年度に誰も自殺に追い込まれることのない「健康な心で暮らしやすい奈良県」を実現するために「奈良県自殺対策計画」を策定しました。本計画に基づき、行政や関係機関、民間団体などが連携を図りつつ、保健、医療、福祉、教育、労働、法律等に関わる総合的な取り組みを実践し、地域の実情に応じたきめ細やかで効果的な対策を実施していきます。相談事業

① 電話相談「なら こころのホットライン」（開設時間：平日9:00～16:00）

平成22年1月より専用回線「なら 自死遺族・こころのホットライン」を設置し、自死遺族のためのこころの相談を開始しました。平成22年4月からは自殺予防として「死にたい」と思うほどのつらい気持ちを抱えた方にも対象を拡げて電話相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談延べ件数	15	1029	1044

② 面接相談

面接による、自殺予防相談、自死遺族相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談者数	1	9	10
相談延べ件数	2	17	19

③ 自死遺族への支援

自死遺族の方からの電話では、自助グループや当センターでの自死遺族支援に関する情報提供を求めて、電話をかけてこられる方がたくさんおられます。当センターでは、自死遺族の方に対する面接を行っています。また、奇数月第2月曜日に、「奈良いのちの電話」が行う自死遺族支援「よりそいの会あかり」の“グリーフスペースさくらい”を、自死のご遺族同士が語り合う場として提供しています。

※自死遺族支援“よりそいの会あかり”についてはhttp://www.nara-inochi.jp/ml_6_1.htmlを参照下さい。

④ ハローワークでほっとコーナー

ハローワーク2か所で、週1回弁護士を派遣し、こころの相談を実施しています。

	実施時期	相談者数	相談延べ件数
ハローワーク奈良	金曜日 13:00～16:30	53	58
ハローワーク大和高田	水曜日 13:00～16:30	63	63

(2) 自殺予防に関わる人材養成研修

① 「若者のこころの健康」パネルディスカッション

実施日	平成30年11月11日
会場	帝塚山大学 学園前キャンパス
内容	<p>帝塚山大学の学生とその家族、教育関係者、一般住民、相談支援機関の職員など 合計102名</p> <p>第一部 基調講演 国立研究開発法人国立精神・神経医療センター 精神保健研究所 薬物依存研究部部长／ 同病院 薬物依存症治療センター センター長 松本俊彦氏</p> <p>第二部 パネルディスカッション ～「死にたい」に今できることを考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネラー 松本俊彦氏、「ぷりべんしょん」メンバー2名 ・コーディネーター 帝塚山大学心理学部教授 神澤創氏

(3) ゲートキーパー講座

①市町村別ゲートキーパー講座開催状況

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人のこころの変調に「気づき」、話しを「聴き」、必要な支援に「つなぐ」、そして地域で「見守る」役割を担うゲートキーパーを養成し、地域における自殺対策を強化することを目的に、市町村が主体となり実施しています。

表8

市町村名	28年度				29年度				30年度			
	職員		その他		職員		その他		職員		その他	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良市									1	140		
大和高田市												
大和郡山市	2	46			2	32	1	36	1	21	1	73
天理市					1	27			1	35		
橿原市	1	23					1	68	2	27		
桜井市												
五條市							1	35	1	37	1	21
御所市	2	39					1	50				
生駒市	1	363	1	34	1	60			1	20		
香芝市					2	45						
葛城市												
宇陀市			1	55			1	77	1	12		
山添村							1	15				
平群町												
三郷町												
斑鳩町	1	32			2	67			1	24		
安堵町											1	17
川西町			1	24	1	36						
三宅町									1	17		
田原本町	1	161	1	40	1	153	2	79				
曾爾村												
御杖村												
高取町			2	51							1	25
明日香村											6	52
上牧町												
王寺町												
広陵町												
河合町												
吉野町												
大淀町												
下市町												
黒滝村												
天川村												
野迫川村					1	14						
十津川村												
下北山村												
上北山村												
川上村												
東吉野村												
合計	8	664	6	204	11	434	8	360	10	333	10	188
*その他（民生児童委員・ボランティア等）												

②関係機関・民間団体等主催のゲートキーパー講座開催状況

表9

関係機関名	28年度		29年度		30年度	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良県教育委員会			1	150	2	395
奈良県立朱雀高校			1	110		
奈良県職員					1	130
奈良県消防学校	1	45	1	50	1	48
大和郡山市地域包括支援センター	1	21				
白鳳短期大学	1	41	1	40	2	80
県内市教育委員会					1	75
県内小中学校					1	70
県内看護学校					1	21
奈良県理容生活衛生同業組合						
奈良女子大学						
奈良森林管理事務所						
合 計	3	107	4	350	9	819

③ゲートキーパー指導者養成研修

平成24年8月に自殺総合対策大綱が見直され、地域での実践的な取り組みの必要性が掲げられ、各地域での人材育成や事業展開が求められたことを受け、平成25年度から、各地域でゲートキーパーを養成する「ゲートキーパー指導者の育成」を行っています。

ゲートキーパー指導者養成研修は、平成30年度に1回開催し合計37名が受講しました。

(4) 自殺未遂者支援

自殺のハイリスク者といわれる自殺未遂者への対策は、自殺を未然に予防するために重要な課題のひとつです。人材育成や関係機関との連携により、自殺未遂者への支援体制を構築することを目指し、研修を実施。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
自殺対策人材養成研修 第一部 講義 「健康な心でくらしやすいまち」をめざして 自殺対策にできること～ 講師：堺市健康福祉局健康部 精神保健課 いのちの応援係 木下大輔氏 第二部 情報提供 「奈良県立医科大学附属病院における自殺未遂者に対する支援」 奈良県立医科大学附属病院 精神医療センター 精神保健福祉士 杉本麻衣氏	平成 31 年 2 月 18 日	37 名	県内市町村、保健所、その他相談支援事業所職員

(5) ホットラインの状況

今後の相談体制の充実を図るため、当センター「ならこころのホットライン」の受電状況の詳細を分析しました。

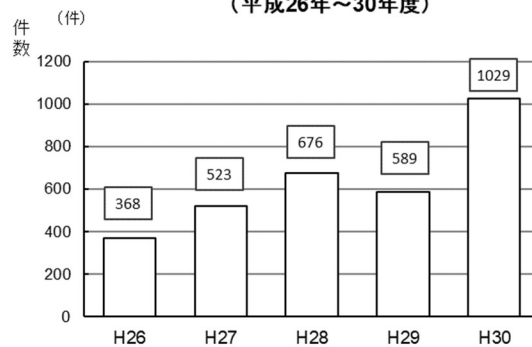
自殺予防に関する相談内訳

①相談者数の年次推移

ホットラインへの相談電話（自殺予防）は、平成26～30年度の5年間で3185件でした。そのうち面接相談につながったのは23件（0.7%）でした。また、平成30年度では、1029件の電話相談のうち、9件（0.9%）でした。

平成26～30年度の相談者数の推移をみると、平成26年度以降増加していましたが、平成29年度に一旦減少し、平成30年度は再び増加しています。

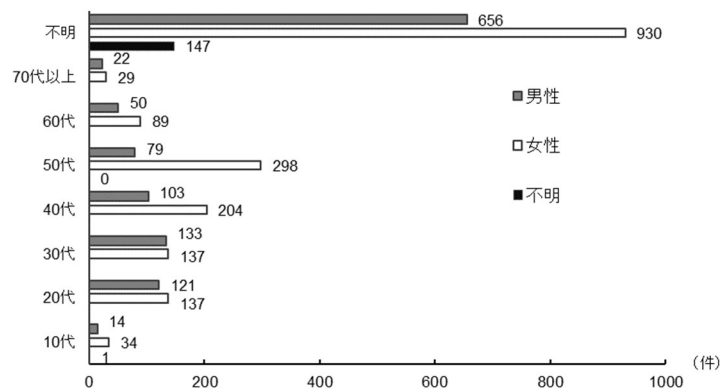
図1 自殺予防電話相談の年次推移
(平成26年～30年度)



②相談者の性別・年代別内訳

過去5年間（平成26～30年度）の相談電話3185件の内訳は、性別では男性1178件（37.0%）、女性1858件（58.3%）、性別不明149件（4.7%）でした。年代別では、男性は30代（11.3%）が最も多く、次いで20代（10.3%）となっています。女性では、50代（16.0%）が最も多く、次は40代（11.0%）という結果になっています。なお、性別不明には無言電話等で性別を識別できない方が含まれています。

図2 年代別・性別相談件数(平成26年～30年度)

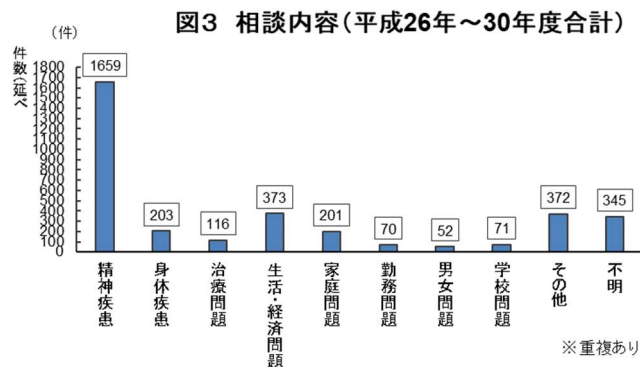


※年代不明者を除く

③相談内容

相談内容は相談種別ごとに計上し、一人の相談者の相談内容が複数に及ぶ場合には、主たる内容と考えられるものを2つまで計上しました。

主に図3のとおり相談種別の順位では、「精神疾患」が1659件（47.9%）と最も多く、次いで「生活・経済問題」373件（10.8%）、「家庭問題」201件（5.8%）となっています（その他、不明を除く）。



④自殺念慮及び自殺未遂歴

平成25年度から、自殺リスクの評価についての精度を高める為に、以下の11の自殺の危険因子をもとに自殺念慮の程度を判定しました。

①過去の自殺企図・自傷歴、②喪失体験、③苦痛な体験、④失業問題・経済問題・生活問題、⑤精神疾患・身体疾患の罹患およびそれらに対する悩み、⑥ソーシャルサポートの欠如、⑦自殺企図手段への容易なアクセス、⑧自殺念慮・希死念慮、⑨望ましくない対処行動、⑩危険行動、⑪その他、のうち当てはまる因子が2～3の場合を自殺リスク軽度、3～5を中等度、6～8を高度、9以上を重度と判定しています。

過去5年間の相談電話における自殺リスクでは、念慮あり（リスク高）が13件（0.4%）、念慮あり（リスク中）が168件（5.2%）、念慮あり（リスク低）が2,085件（65.4%）となっています。また、自殺未遂歴については、「あり」と答えた方は117件（3.7%）でした。

表10 自殺念慮（平成26～30年度）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
念慮あり(リスク高)	3	4	3	2	1	13
念慮あり(リスク中)	26	45	29	24	44	168
念慮あり(リスク低)	244	274	258	431	878	2085
不明	95	200	386	132	106	919
合計	368	523	676	589	1029	3185

表11 自殺未遂歴（平成26～30年度）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
自殺未遂歴あり	22	29	37	13	16	117
自殺未遂歴なし	259	299	54	17	80	709
不明	87	195	585	559	933	2359
合計	368	523	676	589	1029	3185

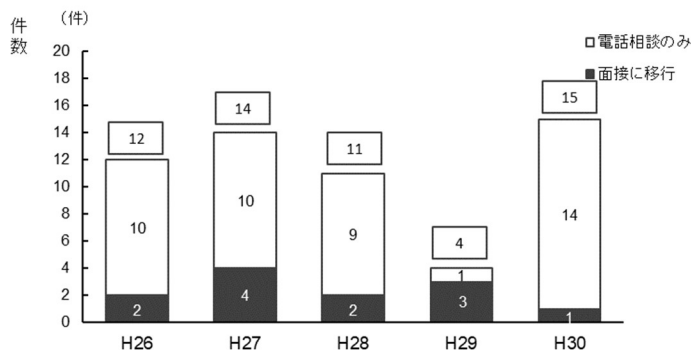
自死遺族に関する相談内訳

① 相談者数の年次推移

ホットラインの相談電話(自死遺族)は、過去5年間で56件でした。そのうち面接相談につながったのは12件(21.4%)でした。また平成30年度では、15件の電話相談のうち1件(6.6%)でした。

過去5年間の相談者数の推移をみると、平成26年以降増加していましたが、平成28年、29年と減少し、平成30年は再び増加しています。

図4 自死遺族電話相談の年次推移

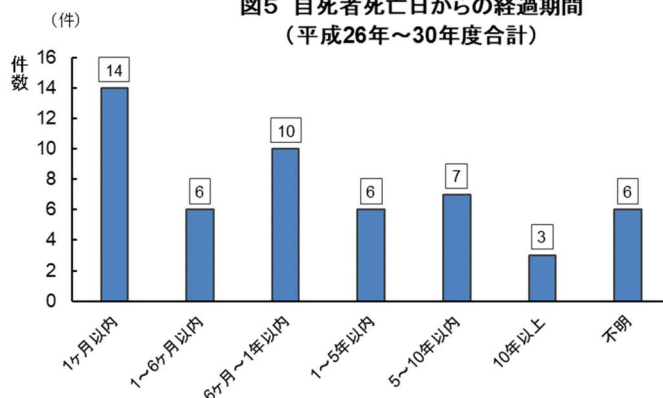


② 自死遺族の方からの来電までの経過期間

自死者が亡くなられてから、電話相談に至るまでの期間は1年以内が30件(58.8%)で、うち1ヶ月以内が11件(21.6%)でした。

図5

図5 自死者死亡日からの経過期間
(平成26年～30年度合計)



まとめ

これまで、5年間に及ぶホットラインに寄せられた相談の特徴について述べてきました。延件数3,185件（自死遺族の相談件数も含めると3,241件）もの相談を受けており、相談内容としては、うつ病などの精神疾患に関するものが最も多く見られましたが、その中でも多様な要因が混在していることが明らかになりました。ホットラインでは、自死遺族や自殺を考えるほど悩んでいる方を対象としていますが、それ以外に日常に生きづらさを感じている方からの電話も多く、ホットラインに求められていることも多岐にわたっています。今後より一層相談体制の整備をはかり、周囲の理解を促すなど啓発活動に取り組んでいくことが必要であると考えられます。

6 依存症対策事業

①薬物依存症治療回復プログラム

平成28年度より薬物依存症者の回復を支援するため、全国で先行実施例のある『SMARPP』を活用した集団による回復プログラムを実施しています。平成31年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

回数	1クール目	2クール目	共通内容
第1回	平成30年 4月11日	平成30年 10月10日	なぜ薬物を止めなければならないの？
第2回	4月25日	10月24日	引き金と渴望
第3回	5月9日	11月14日	あなたのまわりにある引き金について
第4回	5月23日	11月28日	あなたのなかにある引き金について
第5回	6月13日	12月12日	スケジュールをたてよう
第6回	6月27日	12月26日	依存症ってどんな病気？
第7回	7月11日	平成31年 1月9日	回復の地図
第8回	7月25日	1月23日	再発の正当化
第9回	8月8日	2月13日	再発を防ぐには
第10回	8月22日	2月27日	回復のために一信頼と正直さー
第11回	9月12日	3月13日	コミュニケーションスキルアップ
第12回	9月26日	3月27日	強くなるより賢くなるう

②ギャンブル依存症ミーティング

当事者グループ

第1回	平成31年2月19日
第2回	平成31年3月12日

家族グループ

第1回	平成31年2月25日
第2回	平成31年3月18日

7 災害時対策事業

<p>第1回 災害時精神保健医療従事者研修</p>	<p>奈良DPAT研修 ①1日目 ②2日目</p>	<p>①奈良県疾病対策課 村田 清 氏 奈良県中和保健所 守川 義信 氏 奈良県立医科大学附属病院 盛本 翼 氏 DPAT事務局アドバイザー 緑川 大介 氏 DPAT事務局アドバイザー 岡庭 隆門 氏 奈良県精神保健福祉センター嘱託医 小坂 淳氏 ②兵庫県こころのケアセンター長 加藤 寛 氏</p>	<p>①55名 ②55名</p>	<p>① 平成31年1月26日 ② 平成31年1月27日</p>
<p>第2回 災害時精神保健医療従事者研修精神保健福祉従事者研修会</p>	<p>突然の死（災害や自 死な ど）における遺族支 援に ついて</p>	<p>神戸赤十字病院心療内科部長 村上 典子 氏</p>	<p>52名</p>	<p>平成31年 3月5日</p>

8 精神医療審査会の開催

精神医療審査会は、公平かつ専門的な見地から、医療保護入院者の入院届並びに措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告の審査と、精神科病院の入院者からの退院・処遇改善の請求の審査を行います。平成30年度の審査状況は、表16のとおりです。

表12 精神医療審査会審査状況

区 分	届出等の 件 数	審 査 件 数	審 査 結 果						取 下 げ	退 院 等 審 査 要 件 の 消 失	審 査 中 (保 留)	未 審 査 (次 年 度 審 査)
			入 院 等 は 適	他 他 の 態 が	入 院 の へ の 適	形 移 行 当	入 院 継 続 不 要	入 院 は 不 適 当				
医療保護入院の届出 (法第33条第1項)	2,413	2,415	2,413		0	0			2,413		0	0
定 期 の 病 状 報 告	措 置 入 院 者	7	7	7		0	0		7		0	0
	医 療 保 護 入 院 者	875	875	875		0	0		875		0	0
	任 意 入 院 者											
退 院 の 請 求	措 置 入 院 者	7	3	2	1	0			3	3	1	0
	医 療 保 護 入 院 者	69	51	50	1	0			51	16	1	1
	任 意 入 院 者	0	0	0	0	0			0	0	0	0
処 遇 改 善 請 求	措 置 入 院 者	0	0	0				0	0	0	0	0
	医 療 保 護 入 院 者	12	7	7				0	7	5	0	0
	任 意 入 院 者	0	0	0				0	0	0	0	0
合 計	3,383	3,358	3,354		2	0	0	0	3,356	24	2	0

※審査結果の計＝届出等の件数。審査件数については審査により「保留」となった場合も計上しているため、審査結果の計と同数になっていません。

9 技術支援

① 事例検討会

精神保健福祉に関する知識・援助技術の向上を図るとともに、精神障害者の地域生活支援の課題を明確にし、課題解決のための具体的な方法の糸口を見いだすこと、さらに関係機関の役割を相互理解し、支援者間のネットワークを強化することを目的に実施。

研修名	内容	講師	参加者数	実施日
第1回	①親子共に発達障害が疑われる家庭への支援について（事例） ②発達障害について（講座）	①スーパーバイザー ②講師 共に 奈良県精神保健福祉センター嘱託医 小坂淳氏	20名	平成30年 6月14日
第2回	①自殺未遂歴のある双極性障害の方・家族のかかわり方について（事例） ②双極性障害について（講座）	①スーパーバイザー ②講師 共に 奈良県精神保健福祉センター嘱託医 小坂淳氏	9名	平成30年 9月13日
第3回	①精神疾患があるが家族の目が気になるために治療を拒否している育児中の母親のケースについて（事例）	スーパーバイザー 奈良県精神保健福祉センター嘱託医 小坂淳氏	6名	平成30年 12月13日
第4回	①要求が多い【自称】うつ病の中年男性の支援について（事例）	スーパーバイザー 奈良県精神保健福祉センター嘱託医 小坂淳氏	4名	平成31年 3月14日

② 講師派遣

関係機関からの依頼により、関係機関職員を対象とした研修会及び講演会などへ講師派遣を行いました。

研修名	主催者	講師	実施日
薬物依存症者回復支援プログラム啓発	御杖村	奈良県精神保健福祉センター 医師 精神保健福祉士	平成30年 7月30日
薬物依存症者回復支援プログラム啓発	中南和勉強会	奈良県精神保健福祉センター 精神保健福祉士	平成30年 9月13日
事例検討会	宇陀市	奈良県精神保健福祉センター嘱託医 吉岡玲氏 奈良県精神保健福祉センター 精神保健福祉士	平成30年 11月19日
薬物依存症者回復支援プログラム啓発	保護観察所	奈良県精神保健福祉センター 精神保健福祉士	平成31年 1月10日

- ③ 対面支援 50件（関係機関）
（対象機関で処遇しているケースについて面接相談したもの）
- ④ 電話コンサルテーション 51件（市町村）
（対象機関の職員からの電話による相談）
- ⑤ 個別コンサルテーション 3件（市町村）
（対象機関の職員が来所、又は当方から出向くことによる相談）
- ⑥ 組織支援

地域精神保健福祉活動の一環として、下記のとおり専門的立場からの支援を行いました。

組 織 名	支援件数
奈良県精神障害者家族会連合会	1回
アルコール県民セミナー準備会（奈良県断酒連合会）	10回
奈良いのちの電話協会自殺予防連絡会	1回

10 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)の交付

精神障害者保健福祉手帳は、一定の精神障害にあることを認定して交付することにより、精神障害者の社会復帰、社会参加の促進を図ることを目的としている。また、自立支援医療(精神通院)は、治療のため、通院による精神医療を継続的に要する病状にある方に対して医療費の自己負担を軽減する制度。

平成30年6月末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数と、自立支援医療(精神通院)受給者数及びその詳細は、以下のとおりです。

表13 精神障害者保健福祉手帳所持者数 平成30年6月末現在

等級	1 級	2 級	3 級	合計
精神障害者保健福祉手帳所持者数	1,547	6,772	2,730	11,049

表14 自立支援医療(精神通院)受給者数 平成30年6月末現在

保険種別	社会保険		国民健康 保 険	後期高齢者医療	生活保護	合計
	本人	家族				
受給者数	2,656	3,535	7,508	1,029	2,633	17,361

表15 自立支援医療 ICDコードカテゴリ別受給者数 平成30年6月末現在

ICDカテゴリ	コード	給付決定件数
症状性を含む器質性精神障害	F0	768
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F1	527
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F2	5,289
気分障害	F3	6,651
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F4	1,436
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F5	66
成人の人格及び行動の障害	F6	99
精神遅滞	F7	197
心理的発達の障害	F8	707
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	F9	373
特定不能の精神障害	F99	1
てんかん	G40	1,247
計		17,361

奈良県精神保健福祉センター所報（平成30年度）

令和2年3月発行

編集・発行 奈良県精神保健福祉センター
〒633-0062 奈良県桜井市粟殿1000

電話：0744-43-1474

FAX：0744-42-1603

Email：seishin-hw@office.pref.nara.lg.jp